

認知症とともに暮らす地域あんしん事業の概要

【目的】 認知症になっても地域で安心して暮らすことができるよう、「認知症の人の在宅生活継続を支援するケアモデル事業」（平成28～29年度実施）の成果を都内に広く普及・推進することにより、認知症の初期（MCIを含む）から中・重度までの段階に応じて、地域において適切な支援が受けられる体制を構築する。

【平成30年度予算】 208百万円

【事業実施期間】 平成30～32年度

1 認知症地域支援推進事業

【事業内容】

認知症の初期段階から支援ができる地域づくりを推進

区市町村事業

大規模団地等に、支援拠点を設置し、下記の取組を実施

- ① 支援の担い手の育成及び活動支援
- ② 多職種協働の推進
- ③ 初期段階の認知症の人の支援

<補助基準額> 11百万円（補助率10/10）

東京都事業

健康長寿医療センターと協働し、区市町村の取組を支援

- ① 区市町村へのアドバイザー派遣
- ② 認知症地域づくり支援研修の実施
- ③ 認知症の人への支援手法の開発 等

2 認知症ケアプログラム推進事業

【事業内容】

BPSDケアプログラムを普及し、認知症ケアの質を向上

区市町村事業

ケアプログラムを普及するため、下記の取組を実施

- ① 介護サービス事業所へのケアプログラムの普及
- ② アドミニストレーターの養成
- ③ 参加事業所への支援

<補助基準額> 9百万円（補助率10/10）

東京都事業

医学総合研究所と協働し、ケアプログラムを運用・推進

- ① オンラインシステムの運用・管理
- ② インストラクターの養成
- ③ ケアプログラムの普及啓発、区市町村へのサポート 等

【事業イメージ】

軽度認知障害（MCI）

軽度認知症

中等度認知症

重度認知症

初期段階からの継続的支援の仕組みづくりが必要
⇒ **認知症地域支援推進事業**

容態に応じた適切な対応ができる専門職の育成が必要
⇒ **認知症ケアプログラム推進事業**